

所 属 弓ヶ浜水産 株式会社（養殖部海水課）

氏 名 まとば こうじ
的場 浩治（21歳）

漁業種類 ギンザケ・サバ養殖



～研究熱心！常に探究心を持ち、魚を思いやる青年～

この仕事をやっていて良かったと思える瞬間は、自分が育てた魚が出荷されること。そう言う的場さんは、嬉しそうに魚の飼育方法について語る。まるで我が子を育てるように魚を扱う的場さん。

いつも心にあるのは、エサをちゃんと食べているか？病気にはなっていないか？など、魚の心配ごと。海水温、潮流、風などの状況によってもエサの食いつきが違くと熱く語る。まじめで、研究熱心な人柄がよく伝わってくる。そんな彼には、水産試験場が潮流観測データを情報発信していることを教えてあげた。研究熱心な彼ならきっと、一番エサやりに適した海の状況を見つけるに違いない。

一方で、過酷なのは冬場の世話だと語る。時化している時でも魚の面倒を見なければならぬから大変。でも、そんな厳しい環境で育った魚だからこそおいしいわけだ。今日も魚の世話のために的場さんは、海に出て行く。

～カッターボートで鍛えたその根性～

山の方で暮らしていたということもあり、小さな頃から海への憧れがあり、高校は境港総合高校の海洋科に入ることに。とにかく海への憧れが強く、高校の時にはカッターボートを漕いでいた的場さん。カッターボートといえば「海の根性」を鍛えるのにもってこいのスポーツと言われている。たしかに話をしてみると、温厚な見た目とは裏腹にしっかり根性が据わっている。そんな彼には、冬場の時化なんて実はたいしたことないのかも。

（文責：永島 宗弥）